

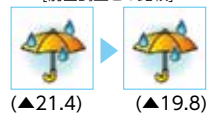
# 秋田県商工会地域景況判断ボード

平成26年1月～3月期

## 【全体】業況DI値は緩やかながら上昇し改善傾向が続く

業況DI値は、前期調査より好転が0.4%(11.1%→11.5%)増加、悪化が1.2%(32.5%→31.3%)減少したことにより1.6ポイント上昇の▲19.8ポイントとなった。資金繰りを除いて、他調査項目においてDI値が上昇していることから、緩やかながら改善傾向にある。

[前回調査との比較]



## 【北部】



- 業況DI値は前期調査より10.3ポイント低下した。原材料価格の上昇による影響もあり、調査項目のうち資金繰りDI値が11.3ポイント低下しており、最も悪化した。
- 来期業況の見通しは、全業種が悪化となっており、特に製造業については、大幅に悪化する見込みとなっている。

## 【中央部】



- 業況DI値は前期調査より5.2ポイント上昇した。また、全調査項目が上昇したなかで、特に売上DI値は20.4ポイント上昇しており、大幅に改善した。
- 来期業況の見通しは、サービス業が好転となり、建設業、製造業、小売業は悪化する見込みとなっている。

## 【南部】



- 業況DI値は前期調査より11.4ポイント上昇した。資金繰りDI値は概ね横ばいとなったが、他調査項目DI値は上昇した。特に採算DI値は19.7ポイント上昇しており、大幅に改善した。
- 来期業況の見通しは、製造業は概ね横ばいとなり、建設業、小売業、サービス業が悪化する見込みとなっている。



## 【製造業】

### ■今期の業況

業況DI値は前期調査より3.2ポイント上昇した。電子部品・木材製品関連業が好調であり、前期調査から引き続き堅調に推移している。

### ■来期見通し (3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ16.2ポイント低下しており、大幅に悪化する見通しとなっている。

### ■設備投資

今期実施件数は5件あり、調査対象製造業の8.1%が設備投資を行なった。来期計画件数は5件となっている。

(▲11.1)



(▲7.9)



## 【建設業】

### ■今期の業況

業況DI値は前期調査から17.0ポイント大幅に低下したが、災害復旧工事・公共工事等の増加もあり、全調査項目DI値はプラスで推移している。

### ■来期見通し (3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は北部での悪化に伴って、今期と比べ21.2ポイント低下しており、大幅に悪化する見通しとなっている。

### ■設備投資

今期実施件数は8件あり、調査対象建設業の16.7%が設備投資を行なった。来期計画件数は4件となっている。

(27.6)



(10.6)



## 【小売業】

### ■今期の業況

業況DI値は前期調査より7.6ポイント上昇した。マイナスながらも、消費税増税前の駆け込み需要等により、過去3期を比較しても今期が一番高い水準となっている。

### ■来期見通し (3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ5.9ポイント悪化する見通しとなっている。

### ■設備投資

今期実施件数は4件あり、調査対象小売業の4.9%が設備投資を行なった。来期計画件数は8件となっている。

(▲44.0)



(▲36.4)



## 【サービス業】

### ■今期の業況

業況DI値は前期調査より4.8ポイント上昇した。また、自動車修理・整備関連業が好調であり、他調査項目DI値も小幅ながら上昇した。

### ■来期見通し (3ヵ月ごとの比較)

業況DI値は今期と比べ2.8ポイント悪化する見通しとなっている。

### ■設備投資

今期実施件数は12件あり、調査対象サービス業の11.4%が設備投資を行なった。来期計画件数は11件となっている。

(▲33.6)



(▲28.8)

## 北部トピックス

- 北秋田市  
市が誘致した大規模太陽光発電所(メガソーラー)事業が12月18日から発電を開始した。一般住宅734世帯分の年間消費電力を賄う規模となっている。
- 白神八峰  
特産品の販売促進に結び付けようと、八峰町「はっぼうまし」のブランド名で、新たにそばサブレや酒粕ケーキを開発した。今後は4月に協議会を発足させ、首都圏への商圏拡大を図っていく。

## 中央部トピックス

- 湖東3町  
八郎瀨町プロジェクト「駅前にぎわい・ふれあい・元気プロジェクト」事業が実施に向け本格的にスタートした。それに伴い、八郎瀨駅前に図書館や子育て支援室・イベントスペース等を完備した複合施設を建設する予定となっている。
- 河辺雄和  
地域通貨(リン)が4月中旬に発行されるほか、「芸術の里」かわべゆうわプロジェクトによる2家族7名が3月末に移住することとなり、地域の人口増に繋がるとともに、経済効果が期待される。

## 南部トピックス

- よこて市  
市や県からの補助金を活用し、山内地域の5店舗が地域限定の宅配サービス事業を始めた。65歳以上の275世帯を対象に「お店の紹介カタログ」等の販促ツールを作成し手配り作業を行っている。
- 羽後町  
ローソンは、廃校した小学校のグラウンドを活用して、葉物野菜の契約栽培を実施する。地元希望者で現地法人を立ち上げ、平成26年7月の竣工を予定しており、葉物野菜工場は全国で初めての試みとなる。

## 【天気図】 前年同期比のDI値をもとに作成



※「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。

## 【調査要領】

1. 調査対象 (1)対象地区:全21 商工会地区 (2)対象企業数:294 企業 (3)回答企業数:294 企業 (回収率:100%)
2. 調査対象時期 平成26年1月～3月期を対象とし、調査時点は平成26年3月1日とした。
3. 調査方法 (1)商工会の経営指導員による訪問面接調査 (2)調査対象企業の抽出は「中小企業景況調査実施要領およびマニュアル」による。

### 4. 調査対象企業数内訳

業種	対象企業数			
	北部	中央部	南部	合計
製造業	21	18	23	62
建設業	18	13	17	48
小売業	27	30	24	81
サービス業	40	29	34	103
合計	106	90	98	294

### 5. その他

- (1)前年同期とは平成25年1月～3月期、前期とは平成25年10月～12月期、来期とは平成26年4月～6月期のことをいう。
- (2)本報告で主に使用する調査項目は、業況・売上・採算・資金繰り、設備投資の状況である。